

編集後記

巻頭に小寺・末廣ご両家のご協力を得て、両先生のご生涯とともに、私達が存じなかった両先生のバックグラウンドである新田と小寺家、また諸文化財など、関東に住む者にも昭和前期の両先生と千里山近辺の情景にあらためて接したような気持ちになりました。

特別寄稿には、昨春身をもって体験された福知山線事故の記録を送ってください、ありがとうございます。吉田氏が私との電話の最後に、会社の経営姿勢のほかに、JRが私鉄と違い狭軌であることの不幸も無視できないのではとの言葉に、私も同感の意を示しました。

村上三島先生について、習字を最も苦手としていた私が、一転特集を組むことになりましたのは、先生を慕う多くの千里山会員が居られたことです。人柄と偉大さに打たれました。

グレース幼稚園の稿が長文になりましたのは、私が保良貞四郎・せき夫妻のことをなにも存じなかったところ、調べるほどに興味と敬意が募り深入りしたためでした。

「思い出すこと」は放談会まで入れると、賑やかなものになり感謝しております。家庭人としての、日向方齋さんの話の中で山田ゴルフ場、私もクラブ・ハウスのカレライスの味が忘れられません。

32・33・34回生の方々の寄稿が弾み、心強い限りです。後続を期待してます！昭和30年代のことを知りたがっている方がたくさん居られます。よろしくお願いします。

カラーページは千里山でカメラ教室を主宰しておられる鈴木宏さんと生徒さんとの、千里山の風景でまとめさせていただき、他にお送りいただいた方にはご容赦いただきました。

会員、会員家族の活躍状況には、ご本人の自発的な情報提供のほかに、同期その他の方の推薦情報としておりますが、最近新規の情報提供がありません。期待いたしておりますのでお寄せください。

私の個人的事情で発刊が遅れました。早くから原稿をお寄せくださった方にお詫び申し上げます。(柿崎記)

千里山 九号

二〇〇六年七月十五日

代表者 大森 信

編集責任者 柿崎 眞吾

発行所 千里山会

郵便番号 一七七一〇〇四五

東京都練馬区石神井台四一四一四〇一

電話・FAX 〇三(三九二九)五七一三

振替 〇〇一八〇一五一一五八一八四